

75歳以上の会員は、 班長になることを免除します

清風荘自治会は、平成26年度（2014年度）から、輪番制の班長の役を免除するルールを導入しました。高齢者のほか、子育てや介護、病気などの理由がある人も、申し出れば免除されます。これは、班長ができないから自治会を退会するというを防ぐための取り組みですが、ねらいとしているのは、お互いに支え合う地域づくりです。しんどい時は他の人に代わってもらうことを慣例化し、だれもが無理なく活動に参加できる自治会をめざしています。

そのために、ホームページでの会議録の公開や運営委員の公募など、開かれた運営に努めているのははじめ、月50円の自治会費をやり繰りしながらハイキング、ラジオ体操、防災訓練、防犯パトロールなど年間を通じてさまざまな事業を実施。土地利用



町内清掃



清風荘自治会

や交通安全に関わる問題に対して自治会として申入れを行うなど、住み良い環境を守る活動にも力を入れています。こうした取り組みにより、加入世帯が約80世帯増え、加入率は6年間で28%から37%に高まってきました。

新たに運営委員として活動に携わるようになった篠原恵巳さんは、「皆さんのフォローがあるので、あまり負担を感じることなく続けられています。これまで、子ども会の活動を通じて自治会の行事に参加することはありましたが、実際に運営に参加して初めて、自治会が地域のために力を尽くしてくれていることを知りました」と話します。だれもが活動に参加できるようにする取り組みが、自治会への理解を深めることにもつながっています。

清風荘自治会

大阪大学豊中キャンパスの南側（刀根山小学校区）、戸建て住宅とマンション等の住民約300世帯により構成。今後どのようなまちにしていくなかを検討し、平成25年5月に「ふるさと清風荘の未来構想」を作成。



こちら事務局

勧誘チラシやポスターをご活用ください

希望する自治会には、勧誘チラシの原稿をお渡ししています。また、新たに自治会加入を勧めるポスターを作成しましたので、掲示板でご活用いただけます。



自治会のない地域やマンションなどでの自治会設立に向けての相談を承っています。



設立相談受付

ちいきのわ

自治会について.....	P 1
自治会活動運営の工夫.....	P 2/3/4
こちら事務局.....	P 4

自治会ってどんな活動しているの？

- 自治会の工夫 -

自治会は、地域に住む人たちが、日ごろの交流をとおして、連帯と親睦を深め、住みよい地域社会づくりをめざして自主的に結成・運営している最も身近な市民組織です。豊中市では、504の自治会があり、祭りなど季節ごとの親睦活動や快適で美しいまちを維持するための環境美化活動、防犯・防災活動など様々な活動を行っています。地域のみなさんが安心安全に暮らすためには、ひとりひとりが地域に関心を持ち、住民同士のつながりづくりが大切であり、自治会の果たす役割はどんどん大きくなっています。ここでは、地域のみなさんが自治会活動に興味を持っていたらよい工夫をしている自治会を紹介します。



利倉西地区住民自治会

ないものはつくりだせ！ アイデアいっぱい利倉西自治会



猪名川と猪名川公園に囲まれる利倉西エリア。ここは豊中市の西部に位置し、道路を隔ててすぐお隣は尼崎市。住民からは、「公民館や市の施設等では、楽しいイベントや講座等が行われていますが、このエリアからは交通の便が悪いので、なかなか参加できない。」「通勤族や子育て世帯が多いこの地域には、図書館や保育園もなく、地域の情報を知る手段も子育て中の保護者が集える場所も少ない。」という声が聞かれます。

「子どもが大きくなった時に、『昔近所でこんなこととして遊んだよね』という地元の友達との共通の話題をつくってあげたい」と話す文化・レクリエーション部長の昇麗子さんの呼びかけで新たに取組んだ催しがハロウィン。

最初は「誰も参加しなかったらどうしよう」と不安の声があがっていましたが、49人の小学生が参加。あいにくの雨にも関わらず、ハリーポッターやお姫様等、子どもたちは思い思いのキャラクターに扮して元気いっぱいスタートしました。スタンプラリー形式で、子どもたちは4か所のポイントで風船を受け取ります。初めての試みで準備は大変でしたが、子どもたちは心から楽しんでいる様子。そして



利倉西地区住民自治会	
豊島西小学校区	280 世帯加入
＜活動内容＞利倉西まつり、もちつき大会、クリスマス会、町内清掃、パトロール活動、新入生歓迎会	



て、協力を募った老人会や近くの高齢者施設では、場所やお菓子を提供してくれたり、通過地点でかわいいシールを用意して子どもたちを待っていてくれたり、関わる大人たちも嬉しそう。「大変なこともあったけど、終わってみると自分も楽しかった。こんな活動していないと、地域でいろいろな人たち知り合えない」と話すのは副部長の松本巳江子さん。

利倉西自治会では、「自治会は、子育て支援に協力していきます！」と掲げて、小学生の夏休みの宿題を解決する「自習室」も新たに取組みました。

「ここでは『地域みんなで協力する』がないとどんなエリア。ないものはつくりだせ」と濱田進会長も話します。地域にあるたくさんの資源とアイデアを出し合って、自治会活動をもりあげています。

走井自治会

アンケート調査から見た 地域のつながりの大切さ



走井自治会では、自治会員を対象とした「走井自治会活動アンケート調査」を実施しました。アンケート調査を行うきっかけは、「平成 26 年度の第 1 回会合において、自治会活動についての意見をたくさん聞くことができ、自治会から会員の皆さんへの一方的なお問い合わせばかりではなく、皆さんの意見に耳を傾けることがいかに重要であると気付いたから。」と奥野宗公会長は話します。アンケート結果では、自治会活動への参加経験者（80%）、自治会活動に満足している（47%）となり、自治会活動を理解し協力は惜しまないと考えられてはいるものの、形骸化している状況にあるとも感じ、この結果を受けて、走井自治会では 2 つの取組みを実施していきます。

1 つ目は、ひとり暮らしの高齢者への対策です。自治会活動に参加、協力をしようと思いつつも体力的に継続することが困難な方が増えてきており、それを理由に自治会を脱会される傾向にあります。そうした中で、高齢者が脱会しなくてもいいように、役員制度の見直しの検討を行っていく予定です。

2 つ目は、自治会活動への参加意欲の向上です。市民運動会参加者への粗品や入賞順位ごとに景品を提供するほか、年末恒例行事の餅つき大会では自治

走井自治会	
箕輪小学校区	212 世帯加入
＜活動内容＞青年部のキャンプ、町内清掃（百寿会）、もちつき大会、お茶会・カラオケ（百寿会）バス旅行	



会員以外の方の参加を促し、若い世代や高齢者の参加を増やすなど、近隣の皆さんとの会話を十分に楽しんでいただく場を作っています。

平成 27 年度は、四半期毎の自治会員加入促進案内の送付や年間の恒例行事への参加運動の強化、災害用備品を購入し、昨今の異常気象による災害への防災活動に力を注いでいくなど、新しい取組みを行うことで形骸化している現状を打破していきたいと考えています。

奥野会長は「少子高齢化や自然災害などを思うと、地域のつながりが必要不可欠であり、家族と同様の絆のつながりが求められる時代になってきています。自治会員全員が一致団結し活動することが、これからの自治会活動に必要になってくると確信している。」と話しています。